

マタニティ&ベビーフェスタ 2015

in パシフィコ横浜

2015年4月4日(土)5日(日)の二日間にわたり行われましたマタニティ&ベビーフェスタ 2015!! 今回日本最大級といわれるフェスタ内で株式会社テクノアスカは**母子健康手帳の電子化に関するアンケート**の広告協賛をさせて頂きました。

このような妊婦・出産・子育てに関する情報発信イベントで広告協賛をさせて頂けたことで、弊社開発のシステム Melthy (電子母子手帳メルシー)を知って頂けるきっかけにも繋がったかと思えます。

アンケートにご協力頂いたことで、沢山の方の貴重なご意見を集めることが出来たと同時に、アンケートにお答えいただけなかった方にも母子健康手帳の電子化についてチラシを配付出来ましたので、少しでもなにか感じて頂いたのではないのでしょうか。

母子健康手帳の電子化に関するアンケート実施中!

妊娠～育児中のママ限定

ご協力頂いた方先着
150名様にプレゼント!



母子健康手帳、活用していますか?

母と子の大切な健康記録ツール
妊娠や出産記録、生活や成長記録などの重要な記録です。「母子健康手帳」は、お母さんとお子さんの健康を守るための大切なツールです。健康診断、産科や小児科での診察、予防接種、保健指導などを受けるときは必ず持参し、医師や助産師、保健師に必要事項を記入してもらいましょう。手帳の記録はお子さんの健康診断のときの参考となるばかりでなく、予防接種の予約記録として成人後も役立つものなので、紛失しないよう大切に管理しましょう。

手帳は役立つ情報を掲載
手帳の扉には、母子の健康を守り、賢やかな育児を応援するために必要な情報が掲載されています。この手帳を活用して、赤ちゃんの健康や育児に関心をもつと共に、お子さんの様子や自分の気持ちなどを積極的に記録しましょう。お子さんが成長されたときに、お母さん・お父さんから手帳を見てあげることも有意義です。

大事な「母子健康手帳」が「電子化」に向けて検討を開始しました。

情報量の増加と活用の継続性に向けた電子化の必要性
母子健康手帳は、2013年度と比べて約1割増し増刷されました。これには感染症に対する予防接種の内容が大幅に変わっており、カルテと連携できる電子化が求められています。電子化されることにより、医療機関からアタのデータ連携が可能になり、必要に応じて育児に関する情報を得ることができるようになれば、緊急の場合などにも役立つことが期待されます。また、診療履歴や健康状態などについて調剤や相談ができるネットワークづくりの可能性も出てきます。

公益社団法人 日本産婦人科医会を母体とした「電子母子健康手帳標準化委員会」の設立
2013年9月、日本産婦人科医会が、電子母子健康手帳の品質向上の普及と海外交流を目的とした「電子母子健康手帳標準化委員会」を設立し、「母子健康手帳の電子化とその標準化」を推進しています。

公益社団法人 日本産婦人科医会
電子母子健康手帳標準化委員会

わたしたちテクノアスカは今後も沢山のご意見を踏まえ、さらに良いシステム開発を目指していきます!!!